

自主防災会活動報告書

報告日 令和 4 年 9 月 17日

春風自主防災会

氏名 櫻井 俊一

実施した活動について、活動終了後に報告してください。

実施日時	令和 4 年 9 月 7 日 水曜日 10 時 00 分 ~ 14 時 30 分
実施場所	春風公民館・春風公園
参加人数	上甲子園中学校 生徒等 計 19 人
活動内容	実施した活動に○をつけてください。(複数可) 1 防災関連イベント ② 施設見学 ③ 防災講演会 4 避難誘導訓練 5 情報伝達訓練 6 消火訓練 7 救出救護訓練 8 資機材取扱訓練 9 炊き出し訓練 10 救急講習 ⑪ 防災ゲーム(クロスロード) ⑫ その他(震災時のビデオとにしのみや防災チャンネルの視聴 展示ブース見学)
活動の目的	トライやるウィークを通じた地元中学生への防災教育と意識啓発
本活動の準備期間	2ヶ月
市・地域等団体の参加	参加した団体に○をつけてください。(複数可) ① 危機管理室 2 消防署 3 消防団 4 防災士 5 ひょうご防災特別推進員 ⑥ その他(青少年愛護協議会 春風公民館館長) 7 なし
訓練の感想・反省等	青少年愛護協議会、春風公民館館長、地域防災支援課の御協力を得て、無事トライやるウィークを終えられたこと有難うございます。中学生も真剣に参加してくれたと思います。クロスロードゲームの時間をもう少し取り、それぞれの意見をもう少し深めて話し合った方がよかったですと感じています。
その他	

※ホームページに掲載する場合は、訓練時の写真・訓練計画・案内チラシ・プログラムなどがあれば添付してください。

送付先 地域防災支援課 TEL : 0798-35-3092 FAX : 0798-36-1990
E-mail : bousai@nishi.or.jp

上甲子園中学校 トライやるウィーク スケジュール

<参加者>

- ・上甲子園中学校 生徒 11名
- ・春風自主防災会 2名
- ・青少年愛護協議会 3名
- ・春風公民館 館長 1名
- ・西宮市地域防災支援課（取材） 2名

<日 時> 9月7日 水曜日 10時

<場 所> 春風公民館 春風公園

- 10時 第3集会室に中学生集合
本日のスケジュール説明 担当者紹介と中学生の自己紹介
- 10時15分 ビデオ「阪神・淡路大震災～西宮市の被災記録～」(約13分)
- 10時30分 震災の経験談 春風公民館 樋口館長
- 11時15分 クロスロードゲーム
地域防災支援課からのクロスロード参考資料に基づき進行
- 12時 昼食
- 13時 春風公園防災倉庫見学
- 13時30分 春風公民館3階講堂
にしのみや防災チャンネルの動画を上映後、防災グッズ展示ブースへ
- 14時30分 終了

<トライやるウィーク当日の活動>

1. ビデオ「阪神・淡路大震災～西宮市の被災記録～」と震災の経験談

西宮市の阪神淡路大震災の記録を視聴後、春風公民館の樋口館長にご自身の当時の経験談をお話しいただきました。館長ご自身が震災を通じて学んだ5つの大事なこととして、『①自分の命を守ること』『②家族の命を守ること』『③災害に備えておくこと』『④当たり前を大切にすること』『⑤感謝の気持ちをもつこと』を中学生の皆さんに伝えられました。



2. クロスロードゲーム

中学生3～4人の班にそれぞれ青少年愛護協議会のメンバーが1人ずつ入り、クロスロードゲームを実施しました。今回は非常持出品・備蓄品・家具の転倒防止に関する問題を1問ずつ、計3問に取り組みました。答えのない問題に対して、中学生の皆さんは自分なりに考えた答えを発言し、相手の意見をよく聞きながら、活発に議論していました。

(当日の進行や問題、議論の中で出た意見、講評については別紙参照)



3. 春風公園防災倉庫見学

春風公園にある防災倉庫へ案内し、資機材を見学した後に担架の組立てと発電機の稼働を実演しました。災害時に向けて、防災倉庫の中にどのような資機材があるのか、どうやって使うのかを知る良い機会となりました。



4. にしのみや防災チャンネルの動画視聴と防災グッズの展示ブース

西宮市のYouTubeチャンネル『にしのみや防災チャンネル』の中から、非常持出品・備蓄品・家具の転倒防止の3テーマについての動画を上映しました。その後、動画の3テーマに沿った展示ブースを見て回りました。各ブースでは、青少年愛護協議会のメンバーが中学生の皆さんに向けて説明を行いました。

午前中に実施したクロスロードゲームの問題に関連する動画を視聴し、展示ブースで説明を受けながらグッズの実物を見ることで理解を深めることができました。



クロスロードゲーム 進行

【事前準備】

3班(1班3～4人程度)に分け、問題を3問行うので、付箋を1人につき3枚、発表用紙を1班につき3枚配付

【進行役 読み原稿】

①ゲームの概要説明

「これからクロスロードゲームを始めます。

クロスロードとは、英語で「分かれ道」のことです。災害時には完璧な正解がない問題が存在し、その問題に直面した際にはどのような選択をすべきか非常に悩むこととなります。『あちらを立てればこちらが立たず』といったジレンマを疑似体験し、災害時に後悔しない選択ができるよう、日頃から災害のことを考えておく大切さを学ぶゲームです。

では、ゲームの説明です。

最初に、私(進行役)が問題を読み上げますので、皆さんは問題を聞いて誰とも相談せずに自分だけで考えて、手元の付箋1枚に質問の答え『Yes』か『No』とその理由を書いてください。必ず『Yes』か『No』のどちらかで答えてください。付箋に書く時間は2分程度とします。

2分経過しましたら、私(進行役)が合図を出しますので、皆さんは自分が書いた付箋を一斉に出してください。出揃った付箋を『Yes』と『No』に分けて発表用紙に貼りつけてから、班内で自分が出した答えとその理由を発表してください。このゲームで大事なことは次に言う3点です。まず1点目が『自分の意見を言うこと』、次に2点目が『人の意見を聞くこと』、最後に3点目が『出た意見をもとに話し合うこと』です。全体で話し合う時間は10分程度とします。後程、各班の代表者の方には班内でどのような意見が出たのか全体に発表してもらいますので、この10分間に発表者も決めておいてください。

10分経過しましたら、私(進行役)が指名した班の発表者の方は、全体に向けて班内で出た意見を発表してください。自分の班は『Yes』が何人、『No』が何人で、『Yes』を選んだ理由と『No』を選んだ理由をそれぞれ発表してください。全班順番に発表してもらいますので、各班の発表者の方は準備しておいてください。

本日は3問を予定していますので、皆さん積極的に発言してください。

この時点で何か質問はありますか？」

②ゲームを実施

「実際にゲームをやってみましょう。

では、問題を読み上げます。

(問題)

今から2分取りますので、誰とも相談せずに、手元の付箋に質問の答え『Yes』か『No』とその理由を書いてください。」

「2分経過しました。皆さん、答えと理由を付箋に書き終わりましたでしょうか。それでは一斉に班員に付箋を見せてください。

付箋は出揃ったでしょうか。それでは今から10分取りますので、班内で自分が出した答えとその理由を順番に発表して、発表者も決めてください。」

「10分経過しました。それでは各班順番に発表してもらいます。発表者の方は自分の班は『Yes』が何人、『No』が何人で、『Yes』を選んだ理由と『No』を選んだ理由を発表してください。では、こちらの班からお願いします。」

(発表を終えて)

「ありがとうございました。(拍手)

(発表に対する感想)

では、次の班の方をお願いします。」(全班繰返し)

(全班発表を終えて)

「皆さん発表ありがとうございました。

この問題については、(参加者へのアドバイス)

それでは次の問題です。」⇒(最初に戻る)

【当日の問題と参加者の意見、アドバイス】

問題①

地震で自宅は半壊状態、家族そろって避難所へ。ただ日頃の備えが幸いして、非常持出袋には水も食料も3日分はある。一方避難所には水も食料も持たない家族多数。

その前で非常持出袋をあける？ Yes(あける) or No(あけない)

(Yes)

- ・ 周りに必要な人がいて、自分に余裕があれば、気にせずあげればいい
- ・ 隠れて水を飲んでいたら、それがバレる方が揉めそう
- ・ 自分と家族の命が最優先
- ・ 我慢して体調不良になる方が問題
- ・ 元々自分や家族のために準備したものだから、気にせず使う

(No)

- ・ 水を飲んだりする時に、周りの目が気になる
- ・ 逆の立場だと嫌な気持ちになるから
- ・ 自分たちだけが飲食するのは、周囲の人を思いやれていないのでは

(アドバイス)

自分が水や食料を持っていることを周囲に知られると「欲しがられるかもしれない」という恐れから、No(あけない)と答えた方がいるかもしれない。

ただ、この問題は全員が非常持出袋をしっかり準備していれば起こらない。

問題②

防災のため、風呂の残り湯を浴槽にためておくといわれる。しかし、浴室がかびるかもしれないし、湯あかがつくると掃除が面倒。それにめったに災害なんてこない。

それでも残り湯をためておく？ Yes(ためる) or No(ためない)

(Yes)

- ・トイレの水に使いたい
- ・掃除は大変だけど、いざという時に必要、便利だから
- ・お風呂を入れた日に何日後に捨てるか等を決める
- ・濾過機を使えばきれいになる
- ・水に困らないのは助かる
- ・飲める水を飲食以外の生活用水にするのはもったいない

(No)

- ・お風呂掃除が面倒、汚い
- ・お湯が汚いから用途が少ない（飲めない）
- ・汚いお湯を使いたくない

(アドバイス)

風呂の残り湯を飲むことは抵抗がある人が大半だが、飲用・食用以外の生活用水(トイレ用や洗濯用)や火災発生時の消火水として使用できるので、ためないよりためる方が良い。水が無いために、トイレの便を流さないことで衛生環境が悪くなり、感染症を引き起こす可能性もある。また、濾過できれば用途は広がる。

もし、残り湯をためることが衛生上気になるのであれば、同等の生活用水をポリタンク等で備蓄しておくべき。飲用水と非飲用水で別に備蓄する。

下水管が壊れていたら、水を流してはいけない。特にマンションでは、トイレの水を流しても問題がないことが確認できるまで、トイレを使用しないようになっていることも多い。万が一に備えて、携帯用トイレを準備しておくことも必要。

問題③

ようやく手に入れた新築マンション。何度もショールームに通って吟味したインテリアに二人とも大満足。しかし、大地震が来たら家具が倒れるかもしれない。

格好は悪いが耐震金具を家具につける？ Yes(つける) or No(つけない)

(Yes)

- ・見た目より命が大事
- ・耐震金具を付けることで被害を少なくできる
- ・倒れないことでお気に入りの家具がまた使えるかもしれない
- ・倒れた家具でドアを塞いでしまって、避難できないかも
- ・家具が倒れて、中の物が壊れるのは辛い

(No)

- ・せっかくオシャレな家具が台無しになる

(アドバイス)

安全を確保するためには、安全金具をつけないよりつける方が良い。

家の壁や家具に穴を開けたくないということであれば、つかえ棒や耐震マットといった手軽に設置できる器具もある。また、転倒しても「出入口を塞がないようにすること」、「下敷きにならないようにすること」を意識して家具を配置することも重要。

(家庭で家具の転倒防止を既に実践している人は1/4程度であることを受けて) 回答は『Yes』の人の方が多かったが、家で実践できている人の方が少ない。午後からの展示ブースで実物を見てもらって、帰ったら一人でも多く実践し、その取り組みの輪を広げて行ってほしい。